

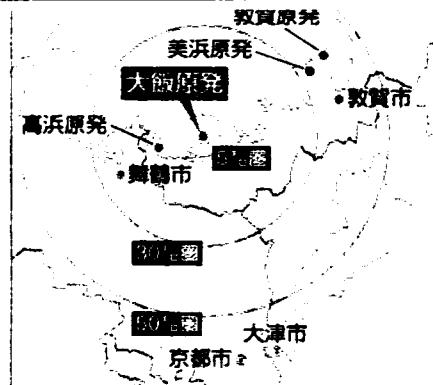
市民のみなさん

地球環境を壊す神鋼石炭火力発電は時代遅れです

年間700万トン以上のCO₂排出の神鋼石炭火力発電は地球温暖化・異常気象を一層すすめる

三〇キロ管内は地元と同じ

再稼働に關係する枝野大臣は、関電大飯原発のストレステストについて、地元の福井県だけでなく、隣接する滋賀県にも、詳しく説明する。と、答弁しています。同時に地元の理解を原発再稼働の条件の一つに挙げていますが、「地元」の範囲が明確に示されていない。「総合的に政治の責任で判断する」と答えています。



滋賀県の意見書は重い

滋賀県議会は三月二三日、「福井県に立地する定期検査中等の原発の再稼働を認めないことを求める」意見書を全員一致で可決しました。

決議は、滋賀県が福井県と隣接し、県境から原発までの距離は最短一二キロ。近畿一四〇〇万人の命の水源である琵琶湖を擁する本県が被災地なってしまうことは極めて憂慮する。政府は、福島原発事故の実態および原因が究明されるとともに、福井県に立地する原発の安全性が確保されるまで再稼働を認めないと力を強く求めています。

**神鋼石炭火力発電は燃料転換を!
CO₂排出量約半分、環境汚染物
も少なく燃料効率が高い天然ガスに**

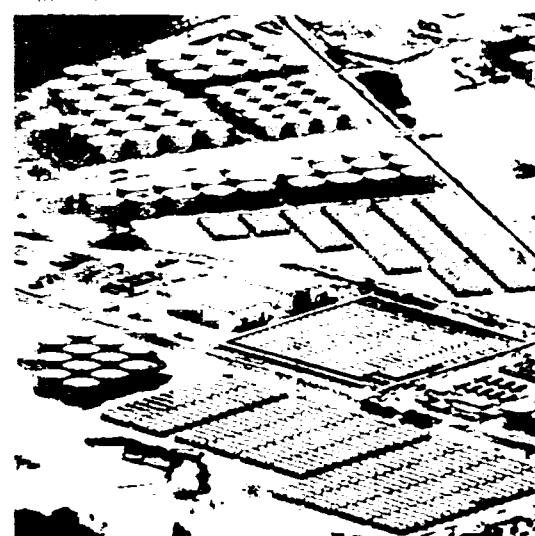
ご意見ご感想をお寄せ下さい

原子力安全委員会は、三月二三日、関電大飯原発三、四号機(福井県おおい町)について保安院が「妥当」としたストレステスト(耐性評価)の一次評価書を認めることを公表しました。今後は首相が再稼働を認め、地元自治体へ同意を迫る重大な局面をむかえました。

事故究明、徹底調査を

福島原発は、放射性物質で汚染され、内部の様子は分かっていません。地震によって、原子炉や配管に損傷があったと指摘する研究者や専門家も多数います。野田総理は国会答弁で「事故究明、徹底調査がすべてのスタートの大前提」と述べています。再稼働に踏み出すことは許されません。

「ストレステスト」は、原発が、どの程度の地震や津波に耐えられるかについての机上の計算で、これを行つたからといって原発の安全が保証されるものではありません。いま政府が行うことは、やみくもな再稼働ではなく、原因の徹底究明、事故の収束に全力をつくすとともに、全面賠償や徹底した除染を行うことです。



汚染物質が満杯になつた福島原発周辺

自然エネルギーと省エネで温暖化防止を

自然エネルギーが期待がされています。岡山県の北部、九町村が合併してできた真庭市の地域の特性を生かした「バイオマスタウン」の挑戦(木質のみ)を紹介します。(H)

原発ゼロへエネルギーの地産地消を



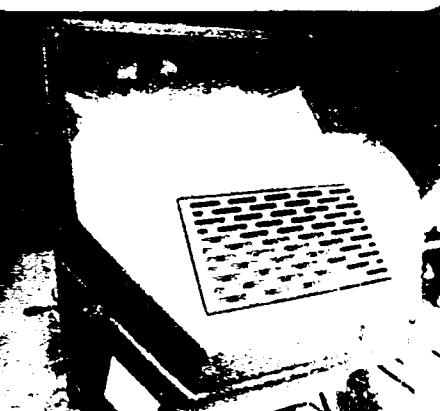
器

森林を生かした町づくりへ

真庭市は面積の八割を占める森林の価値を高めながらエネルギーの地産地消と地域と産業を再生させる町づくりが注目をあびています。昨年四月に建つたばかりの新庁舎の正面は、合併した九つの町を象徴する九本の柱組に支えられた大きなヒノキのロータリー(写真)が目立ち、駐車場の真ん中と屋根には太陽光パネル(八五kW)が並び、ヒノキの香りが漂っています。バイオマス政策課では、「バイオマスの利活用や循環型社会の形成、新産業の創出に力を入れている。府内の冷暖房は、市内の業者がつくるカンナ屑を固めたペレットと木材チップを使ったボイラーレを使用、冷暖房費は灯油の4割。CO₂削減と市内の経済発展につながり、木質バイオは市内全エネルギー利用の一・三%が自給」と、説明します。

ペレット製造日本一

真庭市に本社を置く集成材が主な銘建工業は、製造過程で出るカンナ屑などを発電燃料として活用するとともに、一部を熱で固めてペレットに加工して販売しています。工場には再利用の米袋に詰め込まれたペレットが大量に積まれていました。良質のペレットで燃焼時の灰分が少ないので特徴、在るものを使すことなく生かし、CO₂削減にも貢献しています。発電は工場の電力をすべてまかない、夜間の余剰電力を販売しています。



灯油より安く、煙は出ず、灰も少ないペレットストーブ

人気のバイオツアー

真庭観光連盟主催のバイオマスツアーもあります。効率よく回り観光も楽しんでほしいと始まったツアーは、半日、一日コース(宿泊割引)などです。循環に取り組んでいる企業、利用している地域などを観察するツアーで、木質と酪農のコースがあります。

バイオマスとは

植物や動物など生物に由来する資源で、バイオマスをエネルギーに使うと温暖化防止と地域資源の活用になります。



発電用蒸気ボイラと 燃料のペレット

9千kcal/カロリーの熱量とコスト	
灯油 1L	85円
ペレット2キロ	60円
チップ3キロ	45円